

定例記者会見（H30年2月23日）の発言要旨

1. 3月定例市議会

議案、予算案について市長から概要を説明。

その後、総務部長、総合政策部長が詳細を説明。

記者)

今回の予算に挙がっている新規事業は、どのような考えで入れられたのか。また、本予算の策定スケジュールを教えてください。

市長)

政策予算は、必要不可欠なものに絞っています。新規事業は、学校関係の工事など、既に平成29年度から事業が決まっているものなどです。本予算で大久保色を出していきたい。

財政課長)

スケジュールとしては、4月末までに内部の調整を行い、ゴールデンウィーク明けまでには固めたいと思います。

記者)

議案24の「訴訟上の和解」案は、市議会で承認されれば和解成立ということですか。

教育部長)

その通りです。

2. 償却資産に係る固定資産税の特例措置

市長から概要を説明。

その後、商工観光労働部長が補足説明。

記者)

導入促進の指針の策定は、2月9日に閣議決定されたのですか。

商工政策課主幹)

現在は、方針が閣議決定されている状態であり、指針の策定は、7月の法案成立の後になる。それを受けて、市として計画を策定していくこととなります。

記者)

3カ年の措置なのですか。

商工観光労働部長)

受付期間は、30年度から32年度。固定資産税は、翌年度の課税となるので、32年度に受け付けて適用を受けた場合、33年度から35年度の3年間で優遇を受けられる期間となります。

3. その他

(1) 市長のトップセールス

市長)

福岡都市圏に対して、久留米市を居住地として選んでもらえるよう、しっかりとアピールしていきたいと考えています。これまでも様々な取り組みを行っていますが、今回、西日本鉄道と連携した久留米移住応援セミナーということで、西鉄住まいのギャラリー天神サロンで、移住のPRや移住者への補助制度の説明などをしてきたところです。今後も機会を捉えて、積極的にPRしていきたいと思います。

久留米市は、野村総研のポテンシャルランキングで全国5位、日経BPの子育てしやすいランキングでも上位になっていますが、あまり知られていない。そこを強調し、住宅の購入や子育てのしやすさ、医療の充実など久留米の利点をしっかりとPRして、市の人口増や活性化につなげていきたいと考えています。

(2) 第9回つばきフェアの開催

農政部長が説明。

(3) その他

記者)

JR九州のダイヤ改正で大幅減便となる予定。久留米も影響があると思うのですが、市長の受け止め方は。

市長)

ダイヤ改正は、久留米には大きな影響はないと考えています。先日、この件でJR九州の幹部が私のところに説明に来てくれました。その際、久留米は、新幹線の乗車率が良いという話になり、福岡市への通勤圏としての魅力も評価されていることが改めて認識できました。新幹線効果を生かしたまちづくりをしていきたいと考えています。同社に、不動産部門での久留米への投資を呼びかけたいと思います。